

An abstract painting on the left side of the page, featuring a bird-like figure in shades of red, pink, and white, set against a background of yellow and orange brushstrokes. The style is expressive and modern.

2027年3月期 第2四半期 決算説明資料

AIAIグループ株式会社

証券コード： **6557**

2026年10月

目次

- 1 2027年3月期第2四半期の決算**
- 2 KPIの進捗について**
- 3 株主還元施策について**
- 4 Appendix**

1

2027年3月期第2四半期の決算



直営施設数の推移

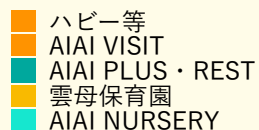
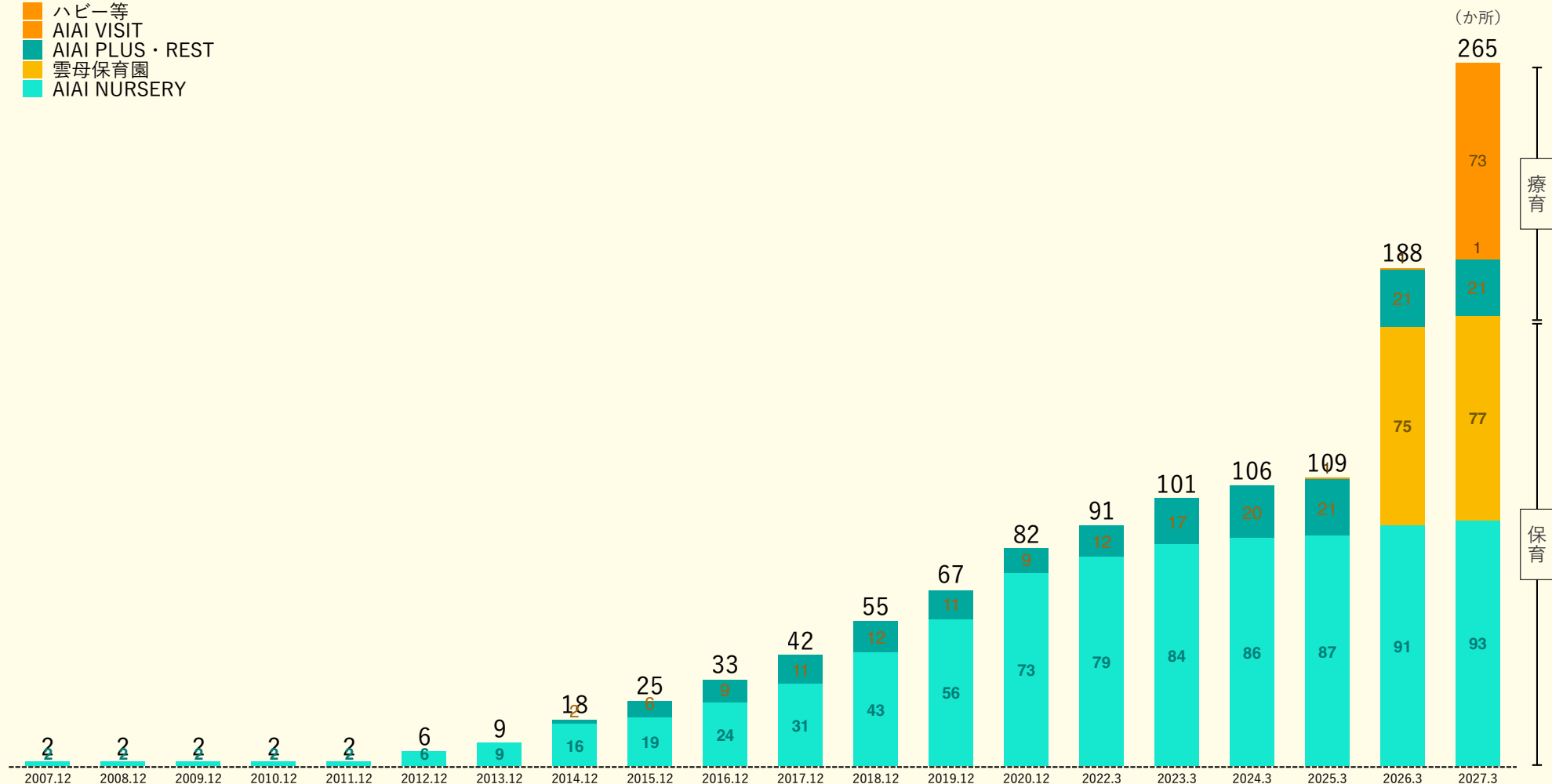
AIAI

・保育

当社グループの保育施設は170か所（AIAI NURSERY93か所、雲母保育園77か所）、定員9,713名、園児数9,236名、充足率95.1%となった。

・療育

療育施設は95か所（ハッピー等73か所、AIAI PLUS・REST21か所、AIAI VISIT1か所）となった。



グラフ枠外数値は合計施設数



2027年3月期 第2四半期 連結損益計算書

AIAI

・売上高

第2四半期累計（2026年4～9月）は、株式会社モード・プランニング・ジャパン(MPJ)の連結開始により、128.3億円(前年同期比+59.6億円、+86.6%)となった。

・営業利益

MPJ取得に伴うのれん償却費の増加やハビー株式会社（以下「ハビー」）取得に係るM&A費用の計上があったものの、既存事業であるAIAI NURSERYの公定価格上昇・充足率向上、AIAI PLUSの売上伸長など既存事業の成長によりこれを吸収した。

損益計算書 (百万円)	2026年3月期 第2四半期		2027年3月期 第2四半期		増減	増減率
		構成比		構成比		
売上高合計	6,877	100.0%	12,832	100.0%	+5,955	86.6%
売上原価	5,715	83.1%	10,479	81.7%	+4,764	83.3%
売上総利益	1,161	16.9%	2,353	18.3%	+1,192	102.6%
販売費及び一般管理費	773	11.2%	1,635	12.7%	+862	111.4%
EBITDA *	728	10.6%	1,431	11.2%	+703	96.4%
営業利益	387	5.6%	717	5.6%	+330	85.1%
経常利益	352	5.1%	733	5.7%	+381	108.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	247	3.6%	338	2.6%	+91	36.7%

売上高

MPJの連結による寄与に加え、AIAI NURSERYの園児数増加、既存施設の公定価格上昇、AIAI PLUSの伸長等により、前年同期比86.6%増の12,832百万円。

売上総利益

MPJの連結による寄与に加え、既存施設の公定価格上昇やAIAI PLUSの伸長による増収効果が人件費の増加を上回り、前年同期比102.6%増の2,353百万円。

営業利益

MPJ取得に伴うのれん償却費の増加や、ハビー取得に係るM&A費用の計上があったものの、既存施設の公定価格上昇等による増益効果でこれを吸収し、前年同期比85.1%増の717百万円。

中間純利益

雲母保育園の設備補助金収入等による営業外収益の増加があった一方、M&A資金調達に伴う支払利息の増加、税負担の増加等により、前年同期比36.7%増の338百万円。

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額（単位未満切捨、小数点第2位以下四捨五入）



四半期業績の推移

AIAI

・売上原価

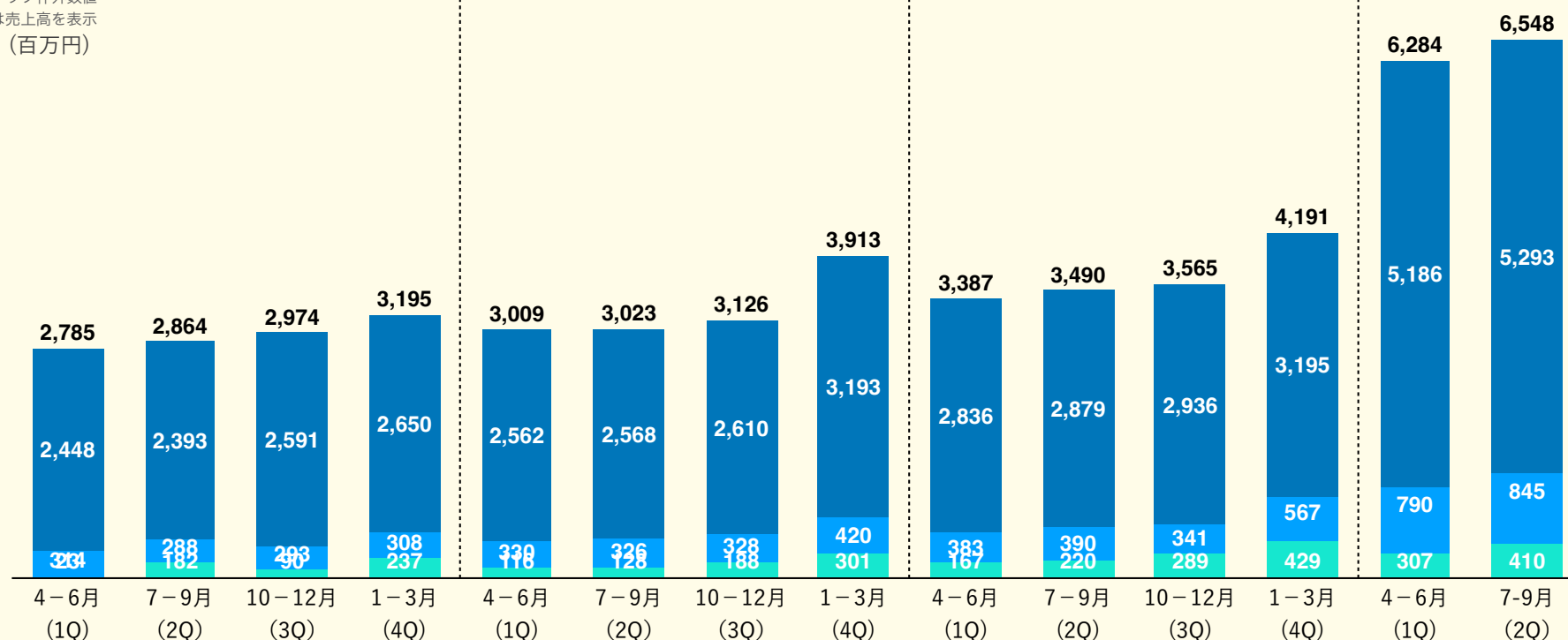
2026年7～9月は、売上高原価率は80.8%と前年同期(82.5%)及び前四半期(82.5%)をいずれも1.7pt下回る水準で推移。前年同期比はMPJの連結や既存事業の成長による増収効果が人件費等の増加を上回り、前四半期比は、主に第1四半期に集中する季節的な費用の減少による。

・販管費

前年同期比+455百万円。MPJの連結に伴う諸費用及びのれん償却費の増加に加え、ハビー取得に係るM&A費用を計上。売上高販管費率は12.9%と、前年同期(11.2%)を1.7pt上回る水準で推移。

■ 売上原価
■ 販管費
■ 営業利益

グラフ枠外数値
は売上高を表示
(百万円)



	2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期				2027年3月期	
営業利益率	0.8%	6.4%	3.0%	7.4%	3.9%	4.2%	6.0%	7.7%	4.9%	6.3%	8.1%	10.2%	4.9%	6.3%
EBITDA	—	—	—	—	292	307	363	481	338	390	460	595	662	769



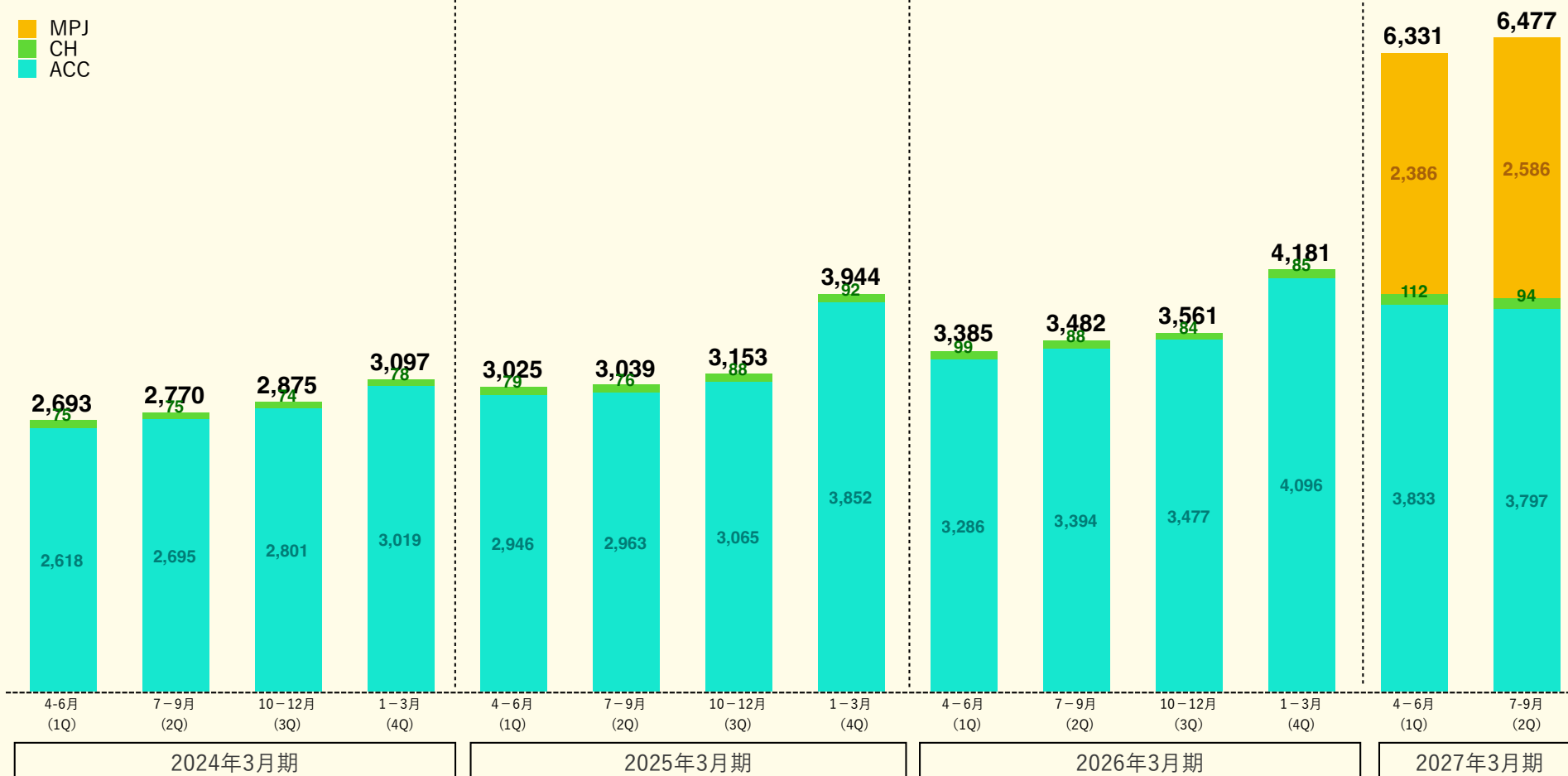
子会社別売上高推移

AIAI

2026年7～9月の子会社別売上高は6,477百万円（前年同期比+2,995百万円、+86.0%）。MPJの連結による寄与（2,586百万円）に加え、ACCはAIAI NURSERYの公定価格上昇・園児数増加やAIAI PLUSの伸長により、前年同期比+403百万円（+11.9%）と増収。

グラフ枠外数値
は売上高を表示
（百万円）

MPJ
CH
ACC



（単位未満四捨五入。本グラフには親会社の売上高を含めておらず、各社数値は内部取引その他の連結消去・調整前の数値であるため、表示額の合計値は連結売上高と一致しない場合があります。）



子会社別営業利益推移

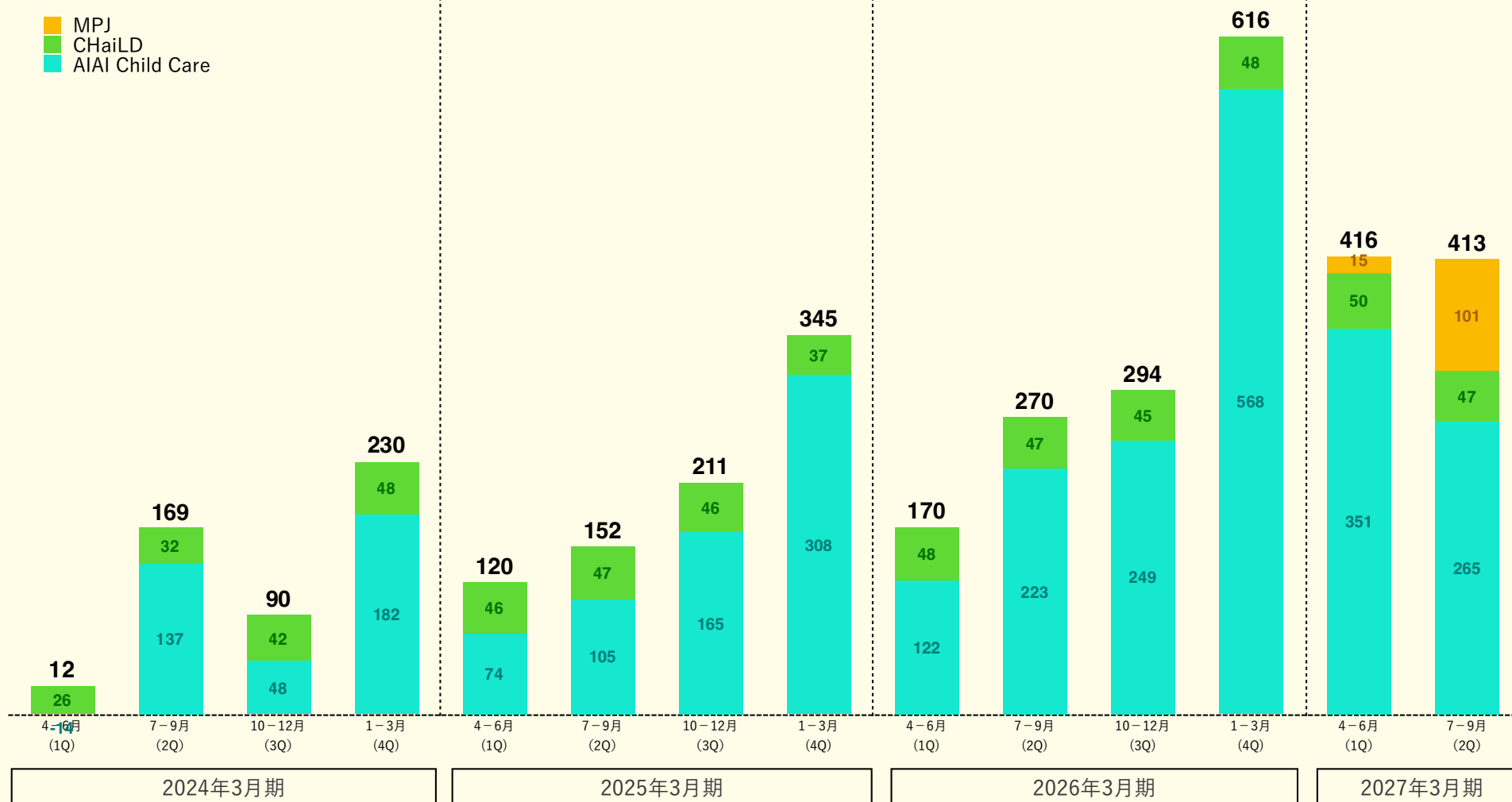
AIAI

2026年7～9月の子会社別営業利益は413百万円（前年同期比＋143百万円、＋52.9%）。MPJの連結による寄与（101百万円）に加え、ACCは増収効果が人件費等の増加を上回り、前年同期比＋42百万円（＋18.8%）と増益。

※子会社別営業利益は持株会社費用及び連結調整前（単位未満四捨五入）。調整後の連結営業利益は410百万円。

グラフ枠外数値は
営業利益を表示
（百万円）

MPJ
CHaiLD
AIAI Child Care





2027年3月期 第2四半期 連結貸借対照表

AIAI

当第2四半期にハビー株式会社を連結子会社化したことにより、総資産は前期末比358百万円増の27,265百万円。

			2026年3月期				2027年3月期	
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
(百万円)								
資産	流動資産	現金及び預金	2,386	1,710	1,625	4,105	2,936	2,048
		その他	1,287	1,427	1,570	3,542	2,122	3,364
	固定資産	株式等	997	926	839	841	907	846
		のれん	62	51	40	8,219	8,113	9,427
		施設設備等	5,721	5,623	5,556	8,223	8,301	8,792
		その他	1,187	1,185	1,116	1,975	2,071	2,785
	資産合計		11,641	10,923	10,749	26,907	24,451	27,265
負債	有利子負債	6,230	5,858	5,627	19,423	17,200	19,154	
	その他	2,299	2,207	2,127	4,236	3,776	4,465	
純資産	資本金・資本剰余金		1,830	1,830	1,847	1,862	1,862	1,914
	利益剰余金		723	835	1,019	1,252	1,435	1,590
	その他		557	191	127	131	176	141
負債・純資産合計			11,641	10,923	10,749	26,907	24,451	27,265

現金及び預金

主に借入金の返済により、前期末比2,056百万円減の2,048百万円。前年同期比では338百万円増。

のれん

当第2四半期にハビーを連結子会社化したことに伴う計上があった一方、のれん償却により、前期末比1,207百万円増の9,427百万円。前年同期比では9,375百万円増。

施設設備等

ハビーの連結による増加に加え、新規施設の開設に伴う施設整備等により、前期末比568百万円増の8,792百万円。

純資産

親会社株主に帰属する中間純利益の増加により、前期末比398百万円増の3,645百万円。

(単位未満切捨)



2027年3月期 第2四半期 キャッシュ・フロー計算書

AIAI

現金及び預金は前期末比2,056百万円減の2,048百万円。営業活動によるキャッシュ・フロー1,844百万円を確保した一方、ハビースの株式取得や新規施設の開設等に伴う投資支出がこれを上回った。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

法人税等の支払額が増加した一方で、税金等調整前中間純利益の増加に加え、MPJの連結に伴い減価償却費及びのれん償却額が増加したことにより、前年同期から848百万円増加し、1,844百万円。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

ハビースの株式取得による支出及び新規施設の開設に伴う支出等により、前年同期から3,473百万円減少し、▲3,626百万円。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

借入金の返済が増加した一方で、ハビース株式取得に伴う借入金により、前年同期から1,204百万円増加し、▲275百万円。

(百万円)	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	
	実績	実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	996	1,844	848
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲153	▲3,626	▲3,473
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲1,479	▲275	1,204
現金および現金同等物の期末残高	1,710	2,048	338

(単位未満切捨。小数点第2位以下四捨五入)



2027年3月期 連結業績予想の修正

AIAI

2027年3月期通期の業績予想は、前回発表予想(2026年5月8日公表)を上回るペースで推移していることに加え、ハッピー及び同社の子会社であるアイリス及びハピネスクムズを連結の範囲に含めたことにより、上方修正する。

・売上高

保育施設における公定価格の上昇、充足率向上、療育施設の伸長に加え、第3四半期連結会計期間から上記3社の業績が加わるため、2026年5月8日に公表した業績予想を上回る見込み。

・営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益

売上高の伸びにより保育士の処遇改善に伴う人件費の増加や、ハッピー株式会社の連結に伴うのれん償却額の増加を吸収し、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも同日公表の業績予想を上回る見込み。

(百万円)	2026年3月期 実績	2027年3月期業績予想				2Q実績	進捗率
		前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B-A)	増減率 (%)		
売上高合計	14,633	26,000	30,000	4,000	15.4%	12,832	42.8%
EBITDA	1,783	2,700	3,500	800	29.6%	1,431	40.9%
営業利益	1,105	1,200	2,000	800	66.7%	717	35.9%
経常利益	933	1,000	2,000	1,000	100.0%	733	36.7%
親会社株主に帰属 する純利益	621	700	1,100	400	57.1%	338	30.7%

(単位未満切捨。小数点第2位以下四捨五入)

2

KPIの進捗について



AIAIの主要KPI

A I A Iグループには、5つの主要KPIがあり、充足率（保育事業）、稼働率（療育事業）、訪問率（訪問事業）、加入率（業務支援）、稼働率（派遣）の割合を高めることで生産性向上に努める。

	項目		件数		率		単価
1	NURSERY 保育事業	=	利用定員	×	充足率	×	利用単価
2	PLUS・REST 療育事業	=	利用枠	×	稼働率	×	利用単価
3	VISIT 訪問事業	=	訪問可能枠	×	訪問率	×	訪問単価
4	CHaiLD 業務支援	=	直営園児数	×	加入率	×	利用単価
5	AIAIサポート 人材派遣	=	派遣可能時間数	×	稼働率	×	派遣単価

標準的な訪問可能枠は契約件数×月2回。
一部自治体では月2回を超える訪問が可能なため、訪問率が100%を上回る場合があります。
業務支援は、システム・写真・幼児教材の販売。



雲母保育園の園児数と充足率

1

2026年9月の園児数は3,823名、充足率は92.1%。年度当初から園児数は108名、充足率は2.6pt改善。

一方、AIAI NURSERYとの充足率差は5.2ptあり、園別・年齢別の募集強化と低充足園の構造改善により95%（120名増）を目指す。

園児数の状況

年齢	園児数	定員数	充足率
0歳児	387	420	92.1%
1歳児	723	731	98.9%
2歳児	739	790	93.5%
3歳児	667	763	87.4%
4歳児	662	724	91.4%
5歳児	645	723	89.2%
合計	3,823	4,151	92.1%

2026年9月

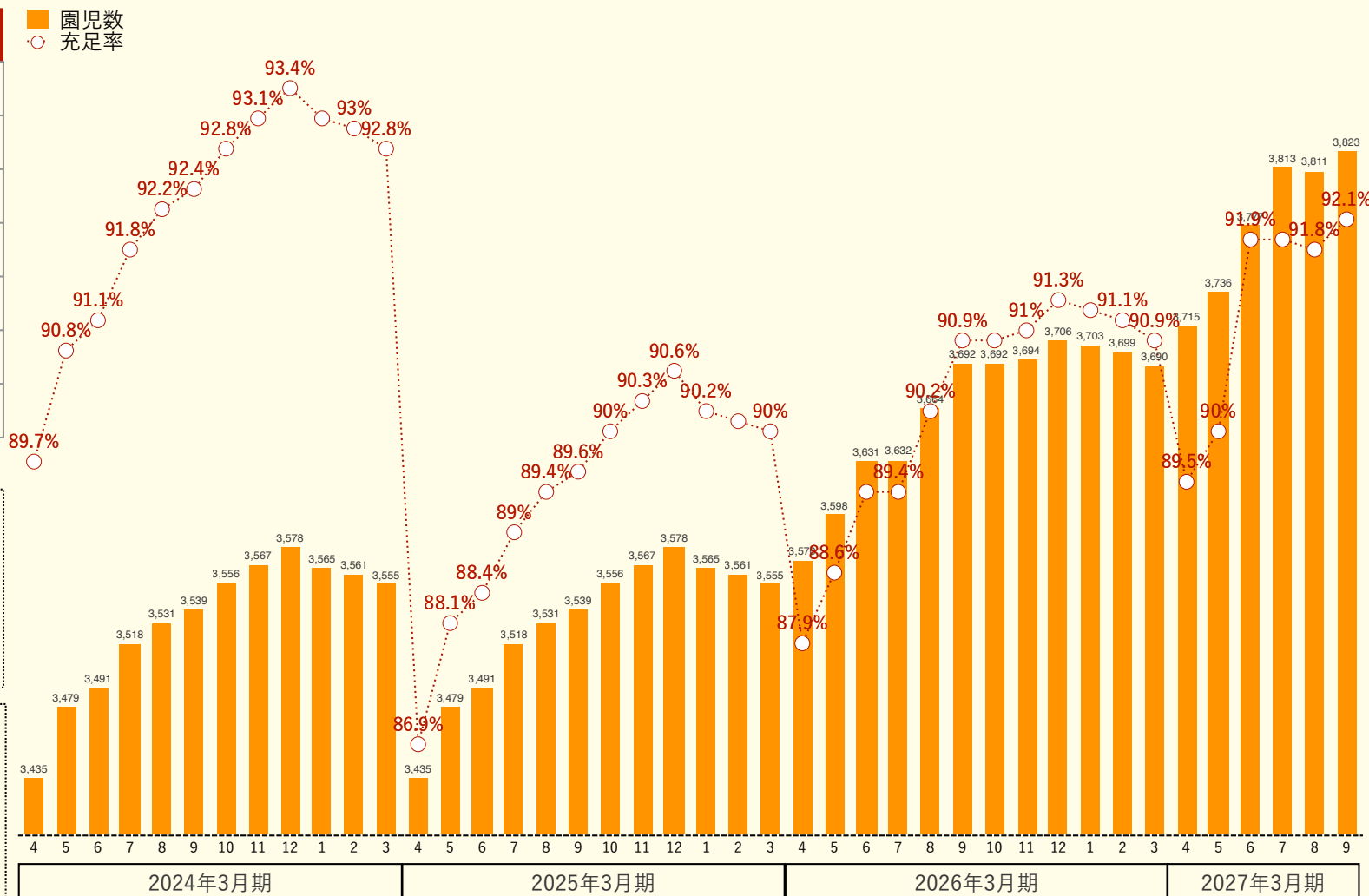
園児数

3,823名。4月比108名増。
充足率95%に向け、約120名の増員を目指す。

充足率

92.1%。0歳児は第1四半期比13ポイント改善。3歳児、5歳児を重点改善領域とする。

園児数及び充足率の状況





AIAI NURSERYの園児数と充足率

1

2026年9月の園児数は5,413名、充足率は97.3%。年度替わり後も入園が順調に進み、9月は4月比で園児数は115名増加し、充足率は1.8pt上昇。0-2歳児は100%を超え、全体として高い充足水準を維持。

園児数の状況

年齢	園児数	定員数	充足率
0歳児	494	489	101.0%
1歳児	948	912	103.9%
2歳児	1,001	994	100.7%
3歳児	1,019	1,060	96.1%
4歳児	977	1,052	92.9%
5歳児	974	1,055	92.3%
合計	5,413	5,562	97.3%

2026年9月

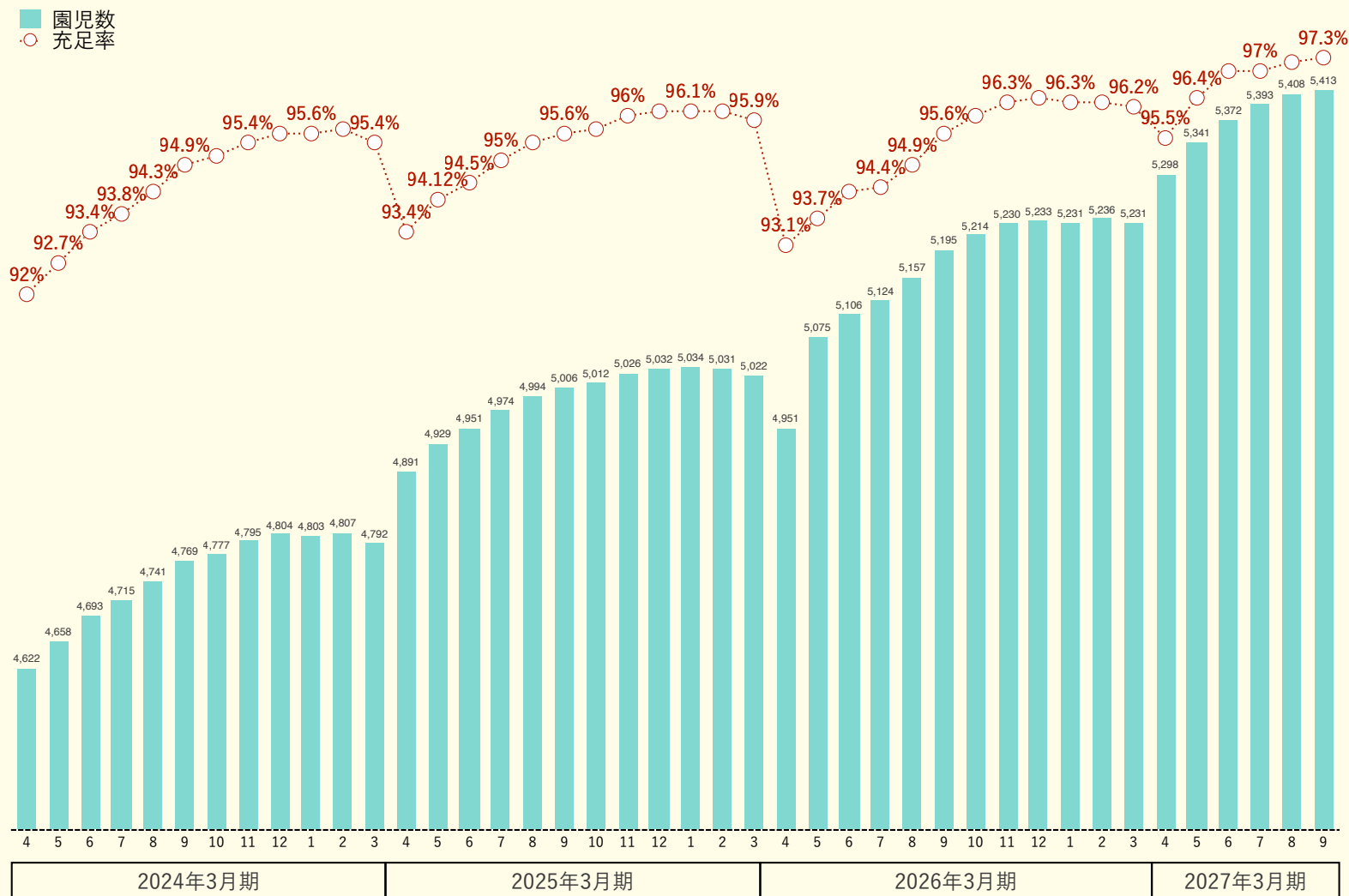
園児数

5,413名。4月比115名増。
定員余地149名を今後の成長
余地として取り込む。

充足率

97.3%。0歳児もほぼ満員と
なった。3歳以上児を重点改
善領域とする。

園児数及び充足率の状況





AIAI NURSERY・雲母保育園の合計園児数と充足率

1

両ブランド合計の園児数は9,236名、充足率は95.1%。4月比で園児数が223名増加、充足率は2.2pt上昇。

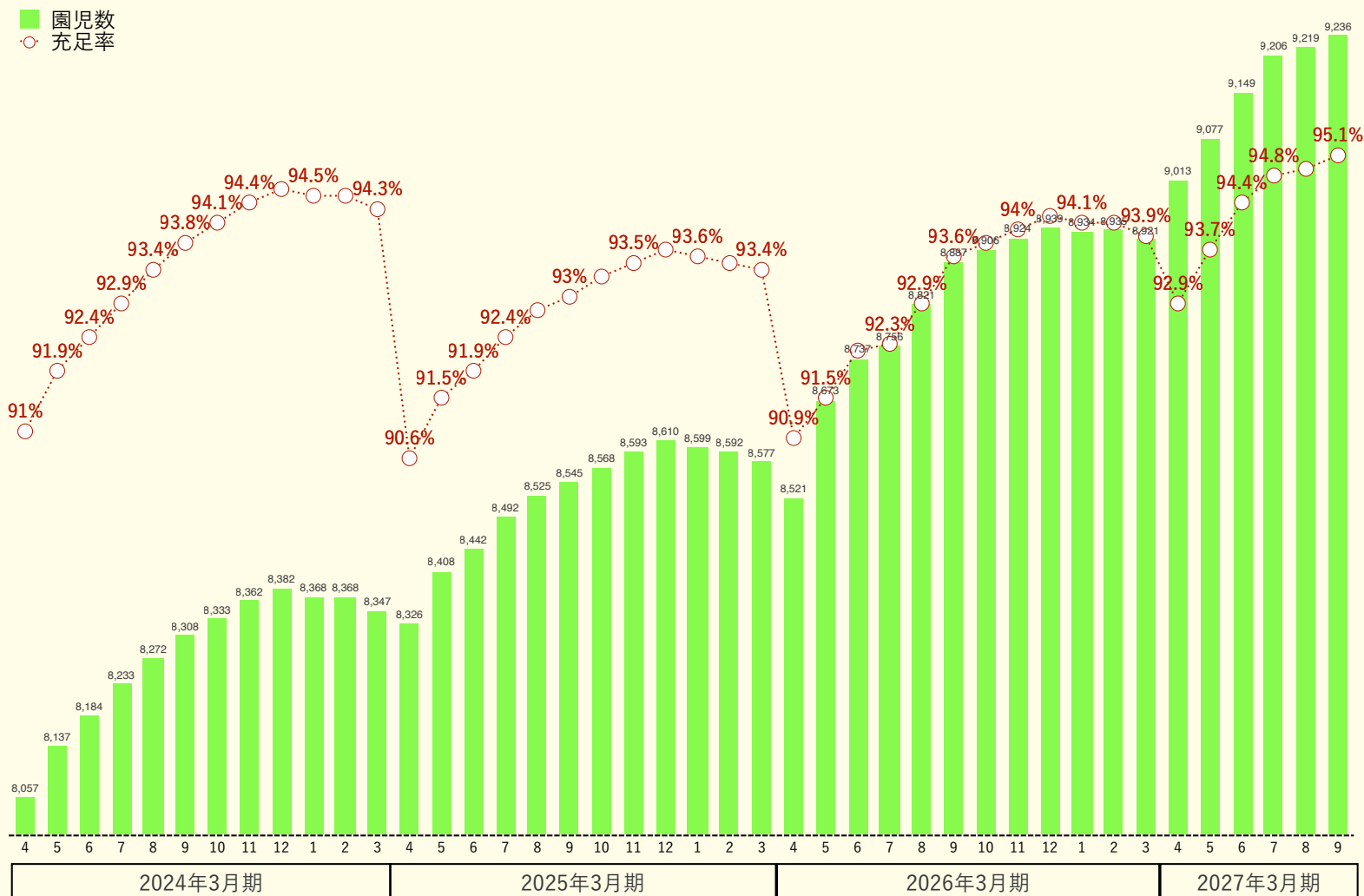
AIAI NURSERYの高充足を維持しつつ、雲母保育園の充足率改善をグループ全体の主要な利益成長余地と位置付ける。

園児数の状況

年齢	園児数	定員数	充足率
0歳児	881	909	96.9%
1歳児	1,671	1,643	101.7%
2歳児	1,740	1,784	97.5%
3歳児	1,686	1,823	92.5%
4歳児	1,639	1,776	92.3%
5歳児	1,619	1,778	91.1%
合計	9,236	9,713	95.1%

2026年9月

園児数及び充足率の状況



園児数

9,236名。4月比223名増。
グループ化により9,000名を
超える園児基盤を形成。

充足率

95.1%。1・2歳児はほぼ満
員。0歳児及び3～5歳児の未
充足枠を重点的に獲得。



AIAI NURSERYと雲母保育園の年齢別園児数・充足率

1

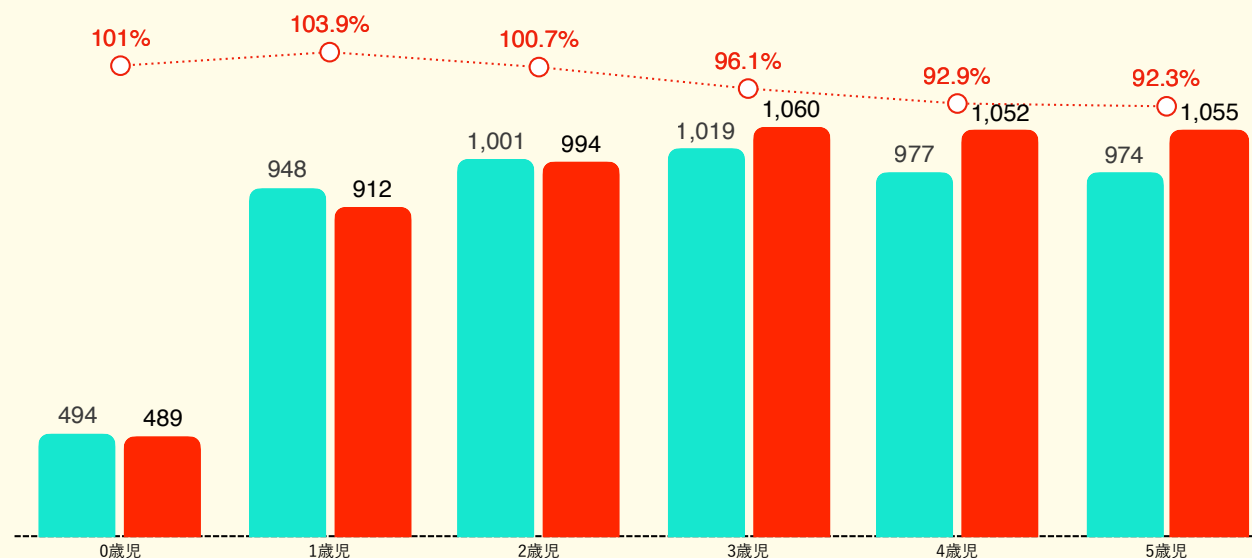
グループ全体の未充足枠477名のうち、433名（約91%）が3～5歳児に集中。

0歳児は充足しつつあるほか、1・2歳児はほぼ満員であるため、募集施策を3歳以上に重点配分。

AIAI NURSERYの園児数の状況

年齢	園児数	定員	充足率
0歳児	494	489	101.0%
1歳児	948	912	103.9%
2歳児	1,001	994	100.7%
3歳児	1,019	1,060	96.1%
4歳児	977	1,052	92.9%
5歳児	974	1,055	92.3%
合計	5,413	5,562	97.3%

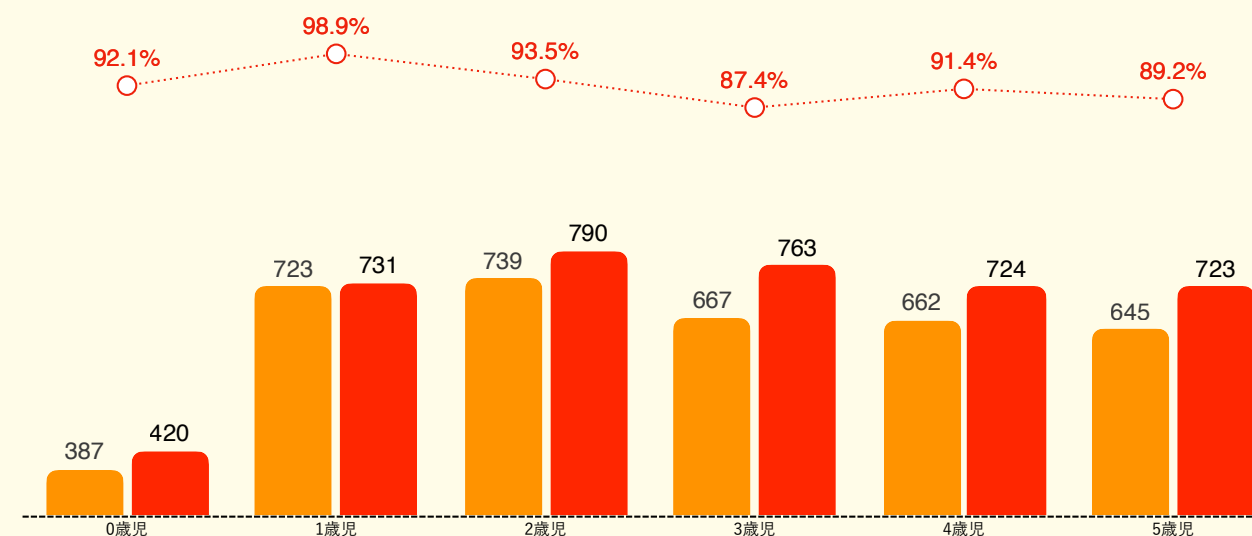
2026年9月



雲母保育園の園児数の状況

年齢	園児数	定員	充足率
0歳児	387	420	92.1%
1歳児	723	731	98.9%
2歳児	739	790	93.5%
3歳児	667	763	87.4%
4歳児	662	724	91.4%
5歳児	645	723	89.2%
合計	3,823	4,151	92.1%

2026年9月



2026年9月



AIAI PLUS・RESTの利用者数と稼働率

2

年度替わりに伴う契約切替等の影響により4月に低下した後、9月は95.3%まで回復。
ハビーの高稼働運営を取り入れ、さらなる伸びを目指す。

* 稼働率 = 利用実績 / 利用可能枠。自治体によっては120%まで利用可能。

利用者数

2026年9月時点において
1,990名となり、前月比89
名増。
契約獲得と利用定着により
高水準を維持。

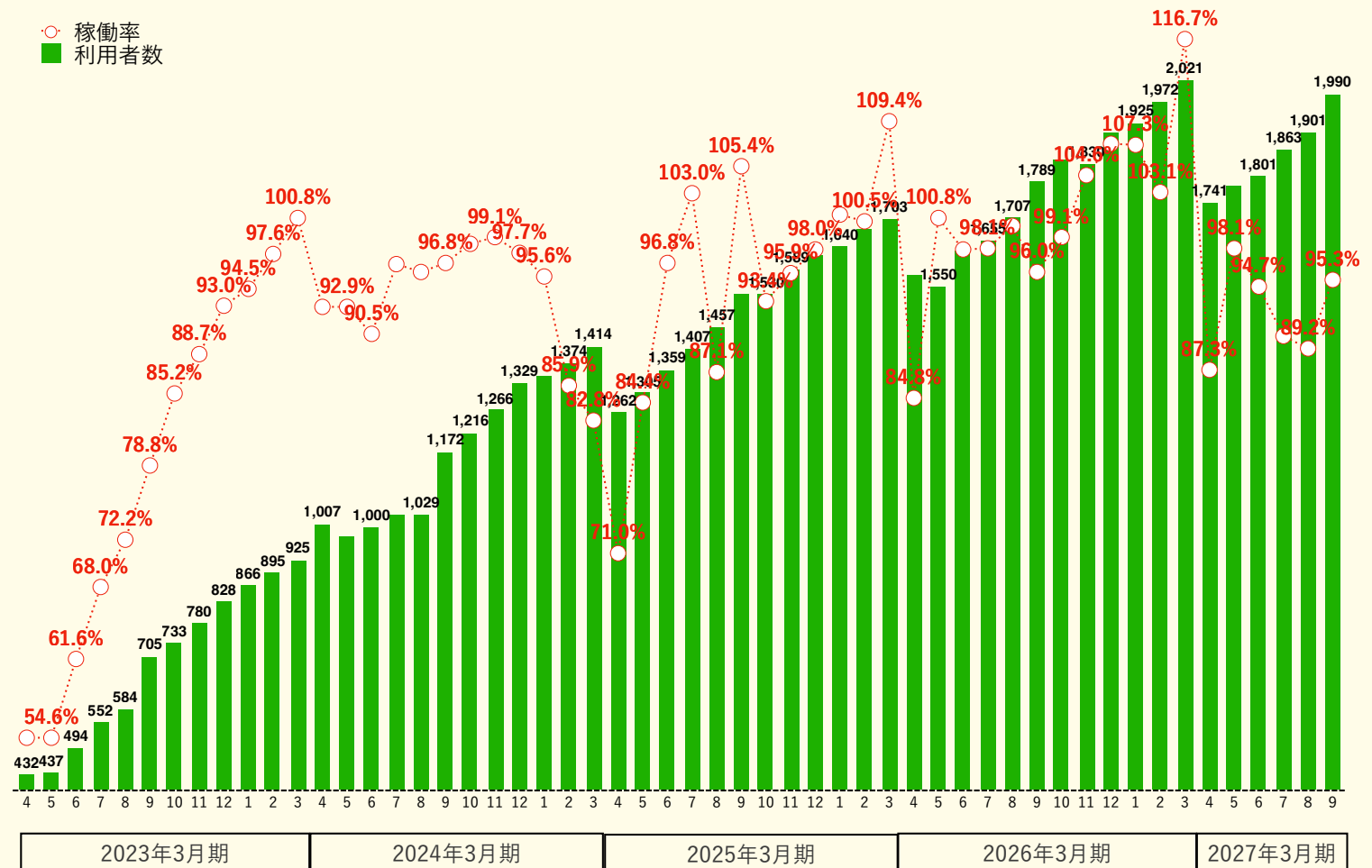
稼働率

2026年9月の稼働率は
95.3%。

今後の方針

ハビーの高稼働運営ノウハ
ウを横展開し、AIAI
PLUS・RESTの通期平均稼
働率105%以上を目指す。

契約件数と稼働率



* 単位未満切捨



PLUS・REST・VISITの合計訪問支援件数と単価

3

2026年9月の訪問支援件数は2,287件と過去最高を更新し、訪問単価は約2万円と高水準。
月間売上換算で約45百万円、年換算で約500百万円の規模に到達。
ハビーへの横展開により、訪問支援を次の成長ドライバーとする。

訪問件数

夏休みの影響で一時的に減少したものの、9月には2,287件となり過去最高を更新。

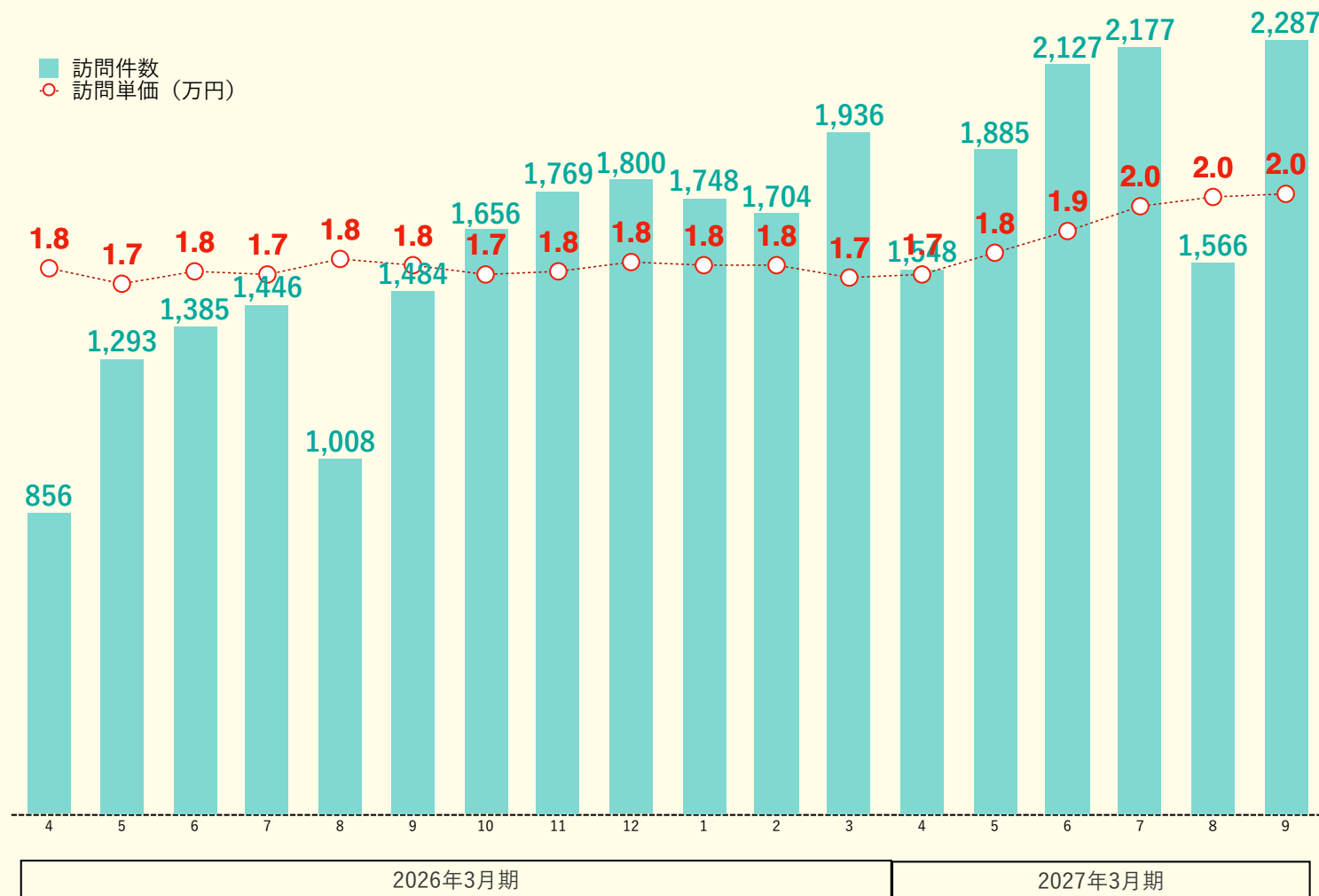
訪問単価

加算獲得可能な訪問支援員の増加等により、約2万円に到達。

今後の方針

ハビー71教室で1拠点月30件を実施した場合、月間2,130件、月間売上約4,047万円、年換算約4.86億円の追加売上ポテンシャル。

訪問件数と単価



※対象拠点、人員確保、自治体指定及び立ち上がり期間等を考慮しない単純試算であり、業績予想ではありません。

* 単位四捨五入



AIAI VISITの訪問件数と訪問率

3

2026年9月の訪問件数は831件と過去最高を更新し、外部施設向け訪問は602件、外部訪問比率は72.4%。
高いニーズに応えるため、今後は訪問支援員の採用・育成を進めるとともに、児童の状況に応じた質の高い支援を提供。

訪問件数

夏休みのため一時的に落ち込んだ8月から、9月は831件に回復。外部施設での訪問支援が全体の72%を占めた。

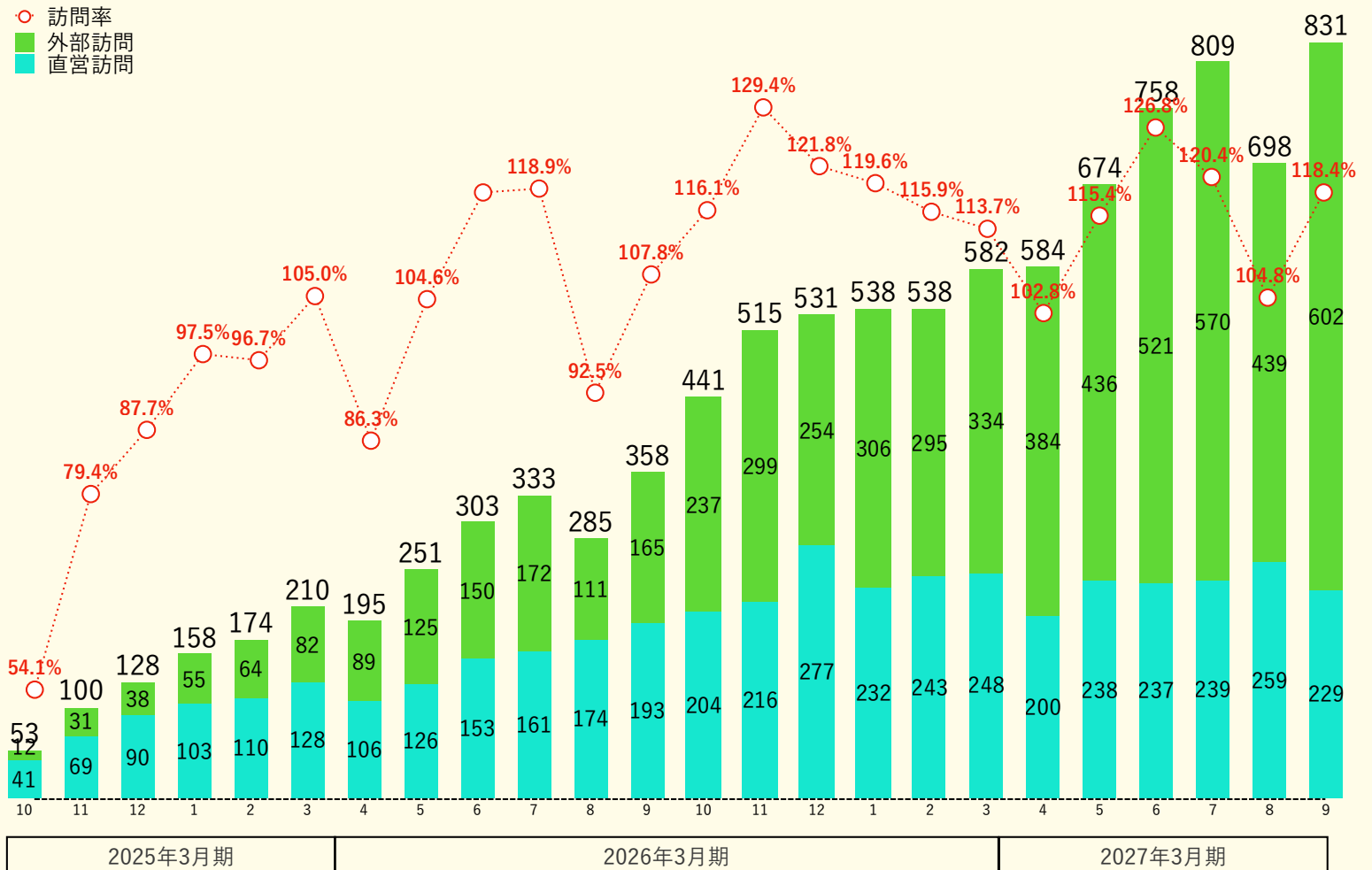
訪問率

9月は118.4%。自治体・児童の状況により、月3回以上の訪問支援が可能なおともあり、高水準を維持。

今後の方針

外部施設との連携拡大と訪問支援員の採用・育成を進め、外部訪問比率と訪問率を維持しながら、契約件数と訪問可能枠を拡大する。

訪問件数と訪問率



※訪問率=訪問件数/(契約件数×2回) 一部の自治体では月2回以上の訪問が可能。



CHaiLDの加入率と売上高

4

2026年9月の加入率は75%と過去最高。2023年4月の20%から55pt上昇し、直営園への導入が着実に進展。

売上は新年度需要が集中する4月をピークに推移し、加入率の上昇が継続収益の拡大に寄与。

※加入率＝幼児教育契約園児数／対象園児数

加入率

2026年9月は75%。
4月比6pt上昇。
未加入園への導入余地は
25%。

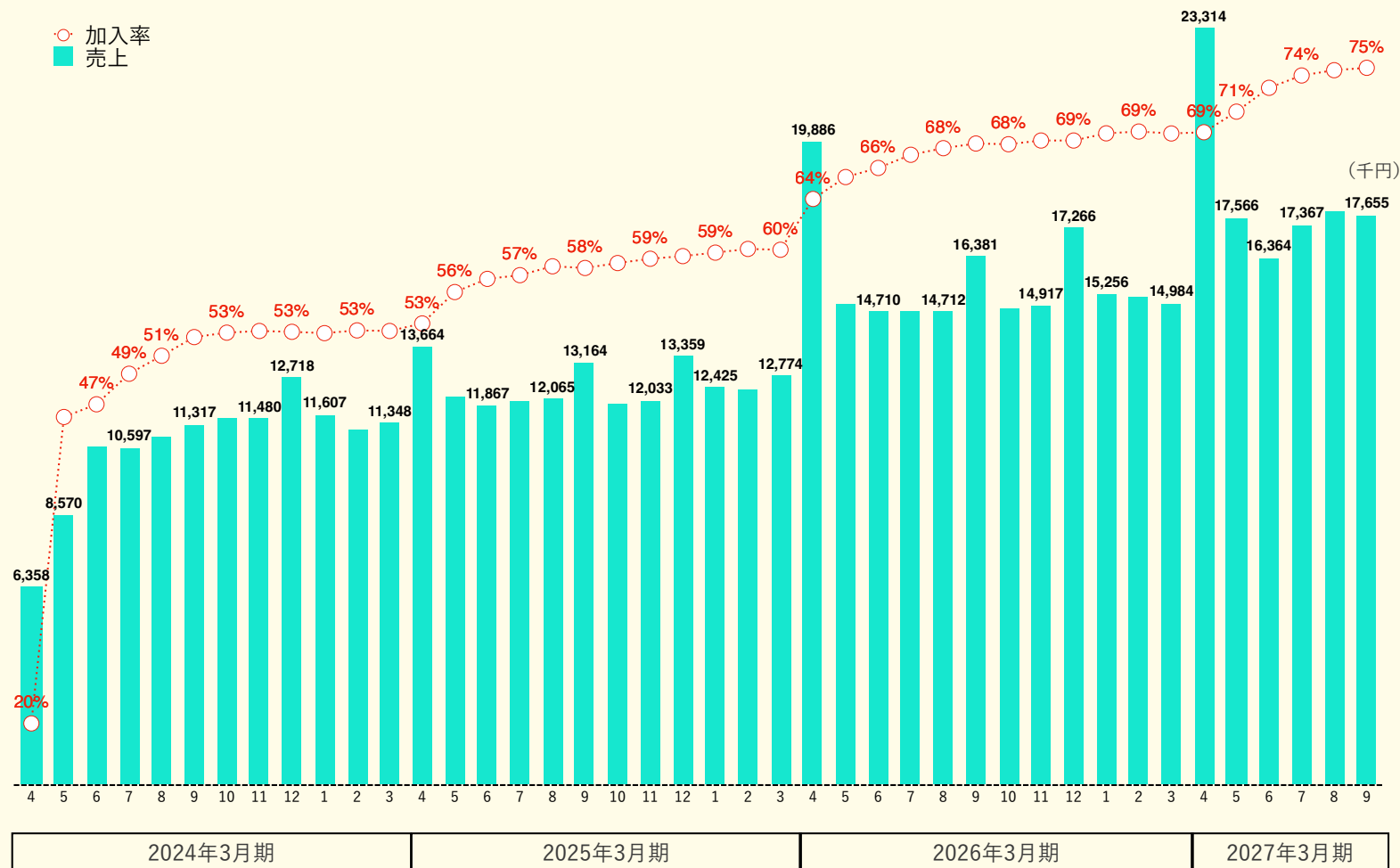
写真販売

加入園の拡大に加え、撮影
回数、購入率、客単価の向
上により売上拡大を図る。

幼児教材

直営園への標準導入を進
め、園児数×加入率×利用単
価による継続収益を拡大。

加入率と売上高





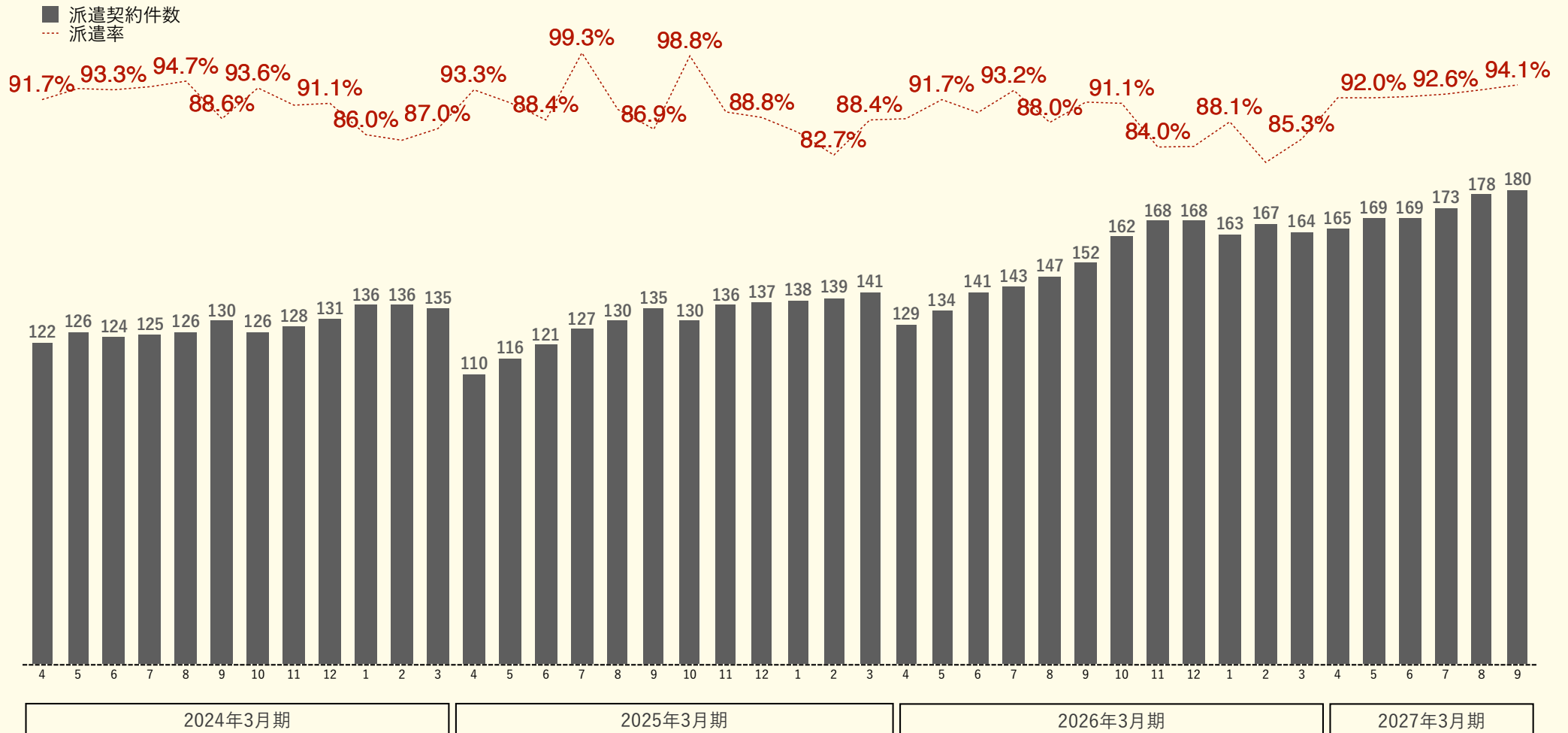
人材派遣稼働率

5

派遣稼働率(派遣率)は、7月以降9割前後で安定的に推移。

一方、派遣人数は増加傾向であり、今期は過去最高の180人に到達。今後は、直営園への派遣に切り替える方針。

派遣人数と派遣率の推移





ポイント

①一定の保育の質を担保する人材の育成

ICT・発達支援・幼児教育の基礎を体系的に学び
どの園でも活躍できる人材を育成

②人材配置のスキマ問題を解決

AIAIと雲母をはじめ、
早番遅番などの保育配置のスキマ問題を解決

③派遣事業の付加価値と収益性を向上

研修修了により、一定の専門性と適応力を備えた人材を
派遣し、長期かつ高単価の派遣事業に育成

AIAIサポーター制度

保育ICT・発達支援・幼児教育の基礎研修を修了し、実地評価に合格した保育士に付与されるAIAIグループの認定制度。

特徴

- ・ AIAIと雲母の運営に必要な専門スキルを習得
- ・ CCSIIIの実務操作から、AIAI VISITへの接続までを理解
- ・ AIAIの幼児教育を体系的に学習

研修 内容

保育ICT（CCS実務）



- ・ CCS各種機能の実務操作
- ・ ワークスケジュールリング
- ・ 保護者アプリ連携など

療育・発達支援



- ・ 発達障害の理解と対応
- ・ 加配児童への関わり
- ・ AIAI VISITへの接続

幼児教育プログラム



- ・ AIAI教材とプログラム理解
- IQパズル・Break it Kids
- KOKORO・ろんり
- ハートフルステップ

研修 期間

2か月

1か月目

ICT・実務研修+OJT



2か月目

療育+幼児教育+OJT

AIAI NURSERYと雲母保育園に派遣



KPI向上 プロセス



採用



サポーター育成



稼働率向上



継続率向上



粗利／人の向上

目指す姿

研修によって派遣社員の価値を高め
安定的に保育人材を供給し
保育業界のスキマ問題の解消だけでなく
ICT・療育・幼児教育の専門性を提供

3

株主還元施策について



当社は持続的な成長に向けた投資と財務健全性を確保しながら、安定的かつ継続的な株主還元を行う方針です。

2027年3月期は年間1株当たり15円の配当を予定。利益成長、キャッシュ・フロー及び財務状況を勘案して、還元の拡充を検討します。

1. 成長投資を最優先

中長期的な企業価値向上に向け、成長投資を継続します。



保育施設の新設・拡大

待機児童解消に向けた出店加速



療育・支援事業の拡大

高い成長性と社会的ニーズに対応



M&Aによる事業基盤の拡大

シナジー創出と収益力強化



海外展開の推進

ASEANを中心とした事業展開



ICT・システム投資の強化

サービス品質と生産性向上

**EBITDA拡大による
持続的な企業価値向上**

2. 配当の開始

2027年3月期より

年間15円配当 (予定)

配当総額 (予定)

約1億円 (予定)

(発行済み株式6,766,384株ベース)

配当利回り (参考)

株価634円の場合※

約2.4%

※株価は2026年10月27日終値を参考

3. 今後の株主還元方針



安定配当を継続

利益成長に合わせて安定的に配当



業績成長に応じた増配

EBITDAの成長に応じて増配検討



機動的な自己株式取得

資本効率・株主価値向上に向け、機動的に自己株式取得を検討



財務健全性との両立

財務の健全性を確保しつつ、持続的な株主還元

これまで (優待中心)



- 株主優待(QUOカード等)を実施
- 個人株主向け施策中心
- 固定コスト型の還元



これから (配当・自己株取得中心)



- 配当及び自己株取得による還元ヘシフト
- すべての株主に対して公平な還元
- 業績連動型の還元で持続性確保

当社は成長投資を優先しつつ、安定的な株主還元を実施することで、中長期的な企業価値の向上と株主の皆様のご期待にお応えしてまいります。

4

Appendix



会社概要 -Company Profile-

AIAI



会社名 **AIAIグループ株式会社**



創業 **2007年1月**



代表者 **貞松 成 (Sadamatsu Joe)**



所在地 **東京都中央区銀座7丁目16-12**



事業 **認可保育、児童発達支援、訪問支援
業務支援、人材サービス等**



ブランド **AIAI NURSERY
AIAI PLUS、AIAI REST、AIAI VISIT
雲母保育園、AIAIサポート、ハビー等**



役員

代表取締役社長兼CEO 貞松 成

取締役COO 木本 彰

取締役CFO 戸田 貴夫

取締役 木原 成記 (監査等委員)

社外取締役 野口 洋 (監査等委員)

社外取締役 豊泉 美穂子 (監査等委員)



代表取締役社長兼CEO

貞松 成 博士 (教育学)

ビジョン

社会課題を解決し、世の中に貢献する

- ・早稲田大学大学院政治学研究科修了
(公共経営修士MPA)
- ・大阪総合保育大学大学院児童保育研究科
(最優秀卒業論文「玉置哲淳賞」受賞)

- 2007年 株式会社global bridge 創業
・あい・あい保育園を千葉市幕張に開園
- 2011年 大阪市に関西オフィスを開設
・Child Care Systemを販売開始
- 2015年 株式会社global bridge HOLDINGSを設立
・持株会社体制へ移行
- 2017年 東京証券取引所TOKYO PRO Marketに上場
- 2019年 東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場
- 2022年 A I A I グループ株式会社に社名変更
・グロース市場へ移行
- 2026年 本社を中央区銀座に移転



AIAIグループ株式会社



AIAI CHILD CARE 株式会社

- AIAI NURSERY
- AIAI PLUS
- AIAI REST
- AIAI VISIT



株式会社 CHaiLD

Child Care System 教材、写真販売等

CCS MEMORU



kokoro
lingua

break
kids

ハートフル
ステップ

出口式

AIAI サポート 人材派遣等



株式会社モード・プランニング・ジャパン

- 雲母保育園



ハッピー株式会社
株式会社アイリス
株式会社ハピネスカムズ

- ハッピー
- ディグ・スマイル
- ILIS CLUB、ILIS PLAN



年	月	概要
2007	1	東京都葛飾区新小岩に株式会社global bridgeを設立
2007	3	千葉県千葉市に、「あい・あい保育園 幕張園」を開設
2011	11	保育園運営管理システム「Child Care System」の提供を開始
2015	11	持株会社株式会社global bridge HOLDINGSを設立し、株式会社global bridgeを子会社化
2015	12	株式会社social solutionsを設立し子会社化
2017	10	東京証券取引所 TOKYO PRO Marketに上場
2018	7	株式会社東京ライフケアの株式を取得し完全子会社化、サービス付き高齢者向け住宅の運営を開始
2018	11	株式会社YUANの株式を取得し完全子会社化、住宅型有料老人ホームの運営を開始
2019	2	株式会社YUANの社名を株式会社global life careに変更
2019	4	株式会社東京ライフケアの介護事業を株式会社global life careに承継
2019	12	東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場
2020	4	株式会社global bridgeの社名を株式会社global child careへ変更
2021	1	株式会社social solutionsの社名を株式会社CHaiLDに変更
2022	1	社名および屋号をすべてA I A I ブランドに統一
2022	4	東証の市場区分見直しにより、東証マザーズ市場からグロース市場へ移行
2024	5	AIAI Life Care株式会社の全株式を株式会社QLSホールディングスへ売却
2025	4	AIAI Child Care株式会社が、テルウェル東日本株式会社よりぽこころ株式会社の株式を取得し完全子会社化
2025	5	AIAI Child Care株式会社が、株式会社在宅ケアサービスより事業譲渡により認可保育園3園を譲受
2026	2	株式会社きららグループホールディングスを子会社化
2026	9	ハビー株式会社を子会社化



免責事項

本資料は、当社の事業内容及び経営状況についてご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載された情報は、作成時点において当社が入手可能な情報に基づいていますが、その正確性及び完全性を保証するものではありません。

本資料には、将来の業績、計画、戦略等に関する見通しが含まれています。これらの見通しは、作成時点における仮定及び判断に基づくものであり、さまざまなリスクや不確実性により、実際の結果が見通しと大きく異なる可能性があります。

投資に関する最終的な判断は、投資家ご自身の責任において行ってください。

本資料の無断転載、複製又は第三者への提供はご遠慮ください。